

生活

活

Q

## 肺線維症の日常生活は

肺線維症と言われました。風邪をひきやすく、治りにくいです。治療や日常生活はどうしたらいいでしょうか。

(女性・88歳)

\*

A

気管支は樹木と同じように枝分かれしながらだんだん

細くなっています。最後

にブドウの房のように目に見えないほど小さな袋状の

ものが付いており、ここに空気が通つて酸素や二酸化

炭素が出入りします。

この袋状のものを肺胞と

## 紙上診察室

佐藤 滋樹氏



呼び、その壁、ブドウでいえば皮に当たる所を間質と呼びますが、間質が壊れてケロイドのように硬く線維化する病気を間質性肺炎、その一部を肺線維症と呼んでいます。

原因は、関節リウマチや膠原病、薬、ウイルスなど

が、進行すると息切れが強くなっています。風邪などを契機に急に病状が悪化することがあるので、風邪をひかないよう手洗いやうがいを励行する、冬はなるべく家に出ない、栄養と休息を十分とる、といった注意が必要です。

さまざまですが、最も多いのは原因が分からない特発性肺線維症というものであります。六十歳以上に見つかることが多く、肺活量が徐々に減っていくのが症状の特徴ですが、進行は人によってさまざまです。

初期の症状は空せぎです

が質問では特に進行していないようですので、経過を見れば良さそうです。二〇〇八年に線維化を抑制するビルフェニドンという薬が発売されました。使用は呼吸器専門医にご相談ください。(名古屋市立大病院呼吸器内科病院教授)

## 風邪予防を徹底、新薬も

「紙上診察室」への投稿は  
〒460-8511(住所不要)中日新聞生活部。ファックス052(222)5284。電子メールkenkou@chunichi.co.jp 住所、氏名、年齢、連絡先をお忘れなく  
(紙面では匿名)。電子媒体でも使用します。